

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターあいあい		公表日	令和7年2月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	6	基準は遵守しているが、活動や状況によっては狭く感じることがある。 基準を満たせばよいというものではないと感じる。 戸外活動等地域資源を活用する等、工夫している。 のびのびと過ごせるスペースが確保できているとは言い難い。 できれば少人数対応をしたい。部屋数が欲しい。	部屋は増やせない為、限られた環境の中で工夫することが大切。職員で共通認識を持つ必要性を感じる。 クラス編成の変更等を視野に入れ、環境を最大限に活用できるよう検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	5	個別対応を要する児童や戸外活動も増えており、人手不足を感じる。 日によって、職員配置が少なく適切ではないと感じる。配置表の見直しにより、職員間の協力はしやすくなった。 全体としては多いが、日々の配置は常にギリギリと思う。 状況によっては、より丁寧な療育を行えるのではと思う。	職員の年休取得時には、職員の配置数が厳しくなる時もあるが、職員の協力のもと療育提供が実施できている。 児童の状況や活動によっては職員の配置数が少なく感じる時はあるが、こどもへの支援（環境整備・視覚支援等）に職員がスキルアップすることも必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25	0	バリアフリー化され、また扉の改修により見通しも良くなり環境改善されている。 定期的に設備等の安全確認を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	1	こどもがクールダウンできるような部屋があればいいと感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	5	現在は個別対応できる部屋や時間ががざられてはいる。 状況によってはクールダウンできる部屋があればと感じる。 部屋数が少ないので、必要に応じてが難しいと思う。居場所を探している児童が多くいる。	現在の限られた環境のため、工夫は必要。 各職員が「こうやってみたい!」「こうやってみたい?」と考え行動できるよう、安心して発信できる職場風土作りが必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	2	研修があり、良く学習している。 広くといわれると、准職員の参加については、投げかけ含め限られていると感じる。 振り返りは十分に行っているが、目標設定が曖昧な時がある。	職員が広く参画できるための方法を検討する必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	1	業務改善提案書の導入。職員との面談。 児発管はよく現場を見聞きしてくれている。 職員間の意見交換がしっかりできるよう、雰囲気・時間づくりがされている。 振り返り等で議題に上がる問題が改善されていない。	課題解決に繋がっていないことに対して、対応できる仕組みが必要。 3ヵ年計画で行われている次世代育成研修の報告会などを設け共有を図ることで、職員の課題解決能力を高める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	24	1	今年度から実施。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	0	随時案内がなされ、参加しやすい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	クラス担当も責任もって参画し、作成を担っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25	0	会議により共有。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	2	標準化されたツールはない。 よく分からない。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	25	0	ミーティングで活動プログラムを考えている。 クラス職員で考え、全体で活動を検討している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	クラスの児童の状況により、工夫し柔軟に対応している。 意図して固定化しているものもある。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	23	2	個別活動が十分にできているとは言い難い。	児童の発達状況に合わせて、個別支援計画を作成している。必要に応じて、個別活動を実施するための計画書が必要。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	朝礼を毎朝固定し行っている。 意見交換はできていると思う。 送迎等での不在時、職員同士連携しにくい日があるため、改善の必要は感じる。 もう少し長く時間をとれたら良いと思う。	報連相が徹底できるよう、方法を検討。合わせて、職員の意識を高める。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25	0	夕礼で振り返りを行っている。 もう少し長く時間をとれたら良いと思う。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	1	徹底はできていないと思う。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	0	医療機関の診察に同伴、および併行通園先や教育機関との連携を密に行っている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	1	共有はしているが、十分ではないと感じている。 相互理解は図られていると思うが、自分自身は把握できていないことが多い。	支援内容等の情報共有と相互理解が図られるよう、支援方法の検討が必要。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0		
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23	1	児童部会等により連携、取り組みを行っている。 尾道市内のセンター間での連携ができていないと思う。	児童部会へ参加することで連携を図っている。地域のことを考えるに当たり、自立支援協議会の在り方について、考えていく必要があると思うため、部会への積極的に参加、意見を発信していく。
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	0	外部から専門家を招き、指導助言を受けている。	
	30 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	22	0		
31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	17	地域の公園等の活用時に交流することはある。 散歩等の戸外活動で触れ合う機会がある。 公園で保育所等のこどもと会う際は、あいさつや声かけを心掛けている。	今後、地域での繋がりをも深めていく取り組み等の検討が必要。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0	連絡帳は必要に応じて使用し、送迎時のコミュニケーションも大切にしている。 活動状況や気付きなど、密に保護者と連携を図っている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	1	県や市からの情報があれば提供しているが、限られている。 ペアレントトレーニングは実施なし。	ペアレントトレーニングは実施していないが、交流会・学習会など、クラスや年齢など様々な形態で家族支援を実施。今後も継続する。
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	4	きょうだいに関しては、限られている。 保護者会が保護者の負担になる会ではなく参加して良かったと思える会にすべく支援が必要だと思う。 保護者については、交流会を開催している。 保護者会などは、保護者に任せているイメージがある。	保護者会とも連携を図り、必要に応じて協力し合っている。今後も保護者同士の交流の場を保護者会と連携し、機会を設けていく。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	保護者からの相談について、迅速丁寧に対応していると思う。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	1	おたよりの発行。日々の様子は、ブログやメールシステムにて配信。 行っではいるが頻度が少ない。 活用してお知らせしようとはしているが、連携が足りずうまく回っていない。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0		
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0			
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	7	18	研修会の案内。 散歩等で地域の方々とは会う際は、あいさつを心掛けている。 利用者以外は、どんな役割をしているのか理解している人は少ないと思う。	研修会は実施している。 招待する行事の計画までは至っていない。 地域のスーパーや郵便局、公共バスを利用するなど、地域活動は行っているため、こどもたちとの活動をとおして、地域の方の理解を深めていくよう、今後も継続した取り組みを行う。	
非常	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	1	マニュアルの家族への周知は実施できていない。	どのように周知するか検討する必要あり。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0		
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0		
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0	栄養士との連携も必要に応じて実施。 クッキング活動や給食等、安全管理を徹底している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22	2		メール配信で安否確認や引き渡し訓練等の整備を急ぎたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	0	共有というよりは、個人の中でがメインだと思う。 朝礼夕礼で報告し、回覧で共有している。 迅速に対応できていると思う。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	法人の研修、事業所内で研修している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	モニタリング、アセスメント時に保護者へ説明している。	